

二〇二五年二月二六日(参加者九名 京都宇治)

侘助の一穢なき白咲きつらね	はく子
琴坂に高鳴る水音冬もみぢ	はく子
掃き清む宮司にもみぢかつ散れり	はく子
宇治川の丹の欄干に片しぐれ	はく子
琴坂のせゝらぎを聞く秋意かな	宏 虎
川風に伏し止まざりし枯芒	宏 虎
磴一步一步に愛でる散紅葉	宏 虎
説法は馬耳東風と紅葉愛づ	宏 虎
右左水音高鳴る紅葉坂	ひかり
水鳥のコロニーなせる中洲かな	ひかり
観音の裳裾となりて黄落す	ひかり
ぺちやくちやとシニア軍団紅葉狩	ひかり
見に入むや断碑を見るに拝観料	菜 々
千年の古刹に牡丹返り咲く	菜 々
琴坂の水のしらべに秋惜しむ	菜 々

塵ひとつなき参道の紅葉影 満 天

侘助の白参道に薬こぼす 満 天

小祠の裏堆く落葉積む 明日香

侘助や建仁寺垣似合ふ家 明日香

落合の白波高し紅葉川 ぼんこ

せせらぎを幾重にも塞く散紅葉 わかば

二〇二五年二月二六日(参加者九名 京都宇治)

吟行句会みのる選